

NTT DATA

Trusted Global Innovator

都政改革に必要な視点

NTTデータ相談役 岩本敏男

NTT DATA

みんながわくわくするような、
魅力あふれる東京のまちづくりが進展

「観光都市 東京」
「国際金融・経済都市 東京」
「環境先進都市」

2020年のレガシーも活かしたまちづくり



一方、人口減少時代のもと、自治体には課題が山積
「少子化」「高齢化」「インフラ・まちの構造」
「労働力」「災害」etc

東京の 特徴

- ◆一人暮らしで、家族や地域の支えが弱い高齢者が増加
- ◆都市居住が進み過度の集中は地震発生時のリスクに
e t c

諸課題 の解決

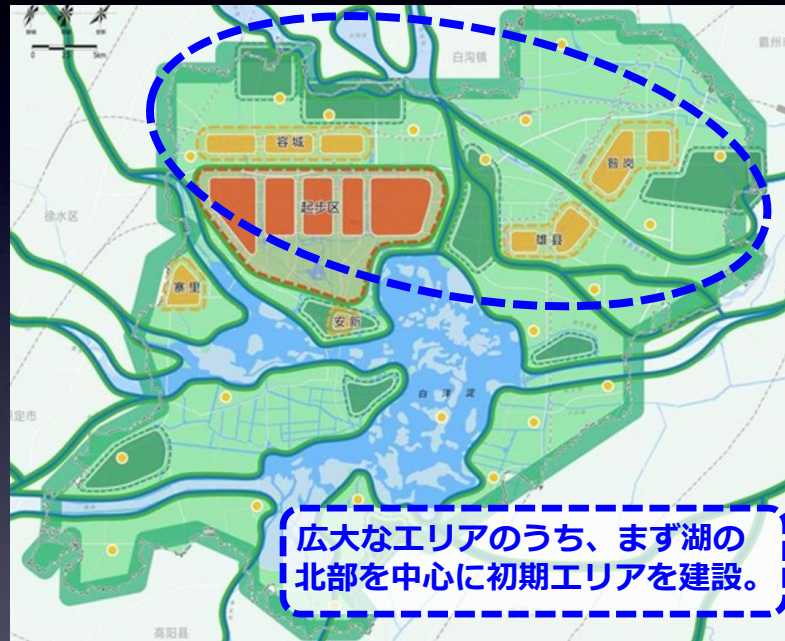
- ◆スマートな自治体への転換（テクノロジーを活用した効率化や、行政の標準化）
- ◆東京圏域での行政マネジメントと都・区市町村の二層制の柔軟化

...

※総務省「自治体戦略2040構想研究会 第一次・第二次報告（平成30年7月）」より

【大きなビジョン例】 中国の国家級新区 雄安新区

北京の非首都機能移転先として、全く新たに「理想の未来都市」を建設するもの。まず2035年までに基本部分を完成。今世紀中頃までに全面的な完成を目指す。



出典 (図) : 河北雄安新区規画綱要 (2018年4月)

最先端技術を活かしたスマートシティと効率的な行政サービスや交通輸送、自然に囲まれ人間性豊かな生活を実現。環境保護や生態系維持への配慮。



電気自動車充電スタンド



顔認証で無人チェックイン可能なホテル



無人運転電気自動車 実験車



無人スーパー



無人宅配ロボット

ひとつのキーワードである「テクノロジー」。
どのように発展してきたものなのか？

「第三の波」の到来

情報通信革命



Source : "The Third Wave" (Alvin Toffler)

「第三の波」の「第三の波」

情報通信革命

第一の波

インターネット
黎明期

(1985~1999年)

第二の波

アプリ経済と
モバイル革命

(2000~2015年)

第三の波

あらゆるモノの
インターネット

(2016年~)

Source : "The Third Wave" (Steve Case)

NTT DATA

Society 5.0

未来社会のコンセプト
日本の成長戦略を担う重要な政策

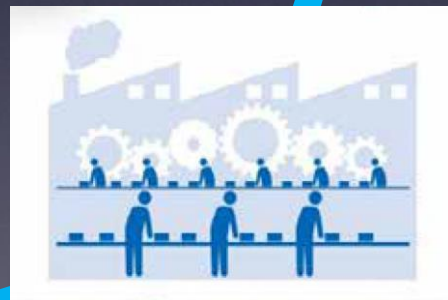
Society 5.0
新たな社会



Society 1.0
狩猟



Society 2.0
農耕



Society 3.0
工業



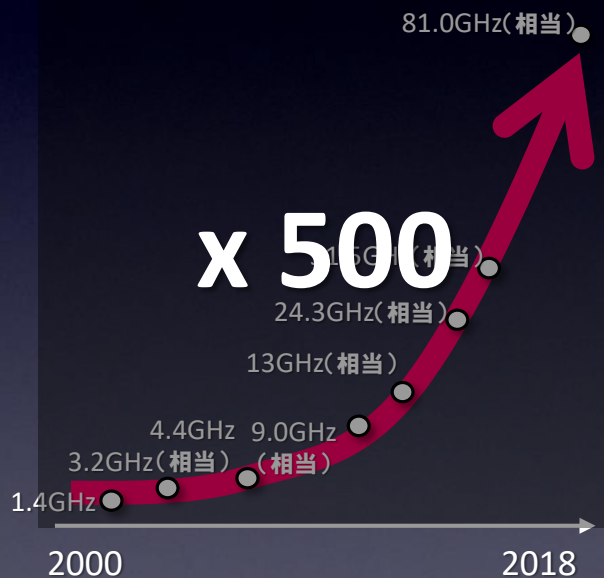
Society 4.0
情報

**第三の波やSociety5.0を
実現可能とするものは何か？**

ITの「3大要素技術」

CPU

大量かつ迅速な演算



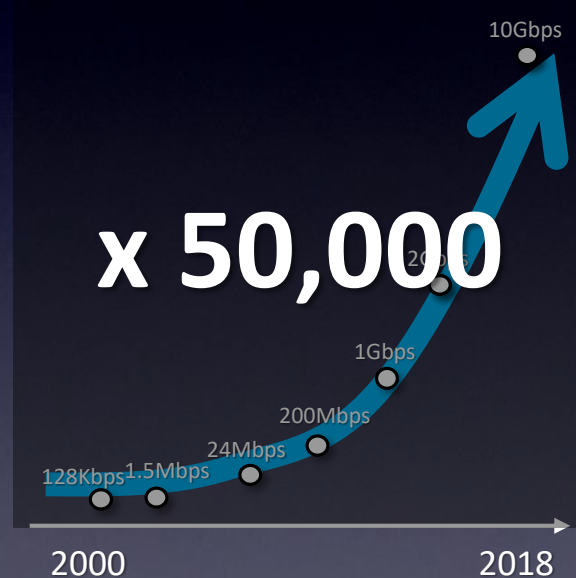
ストレージ

大容量化



ネットワーク

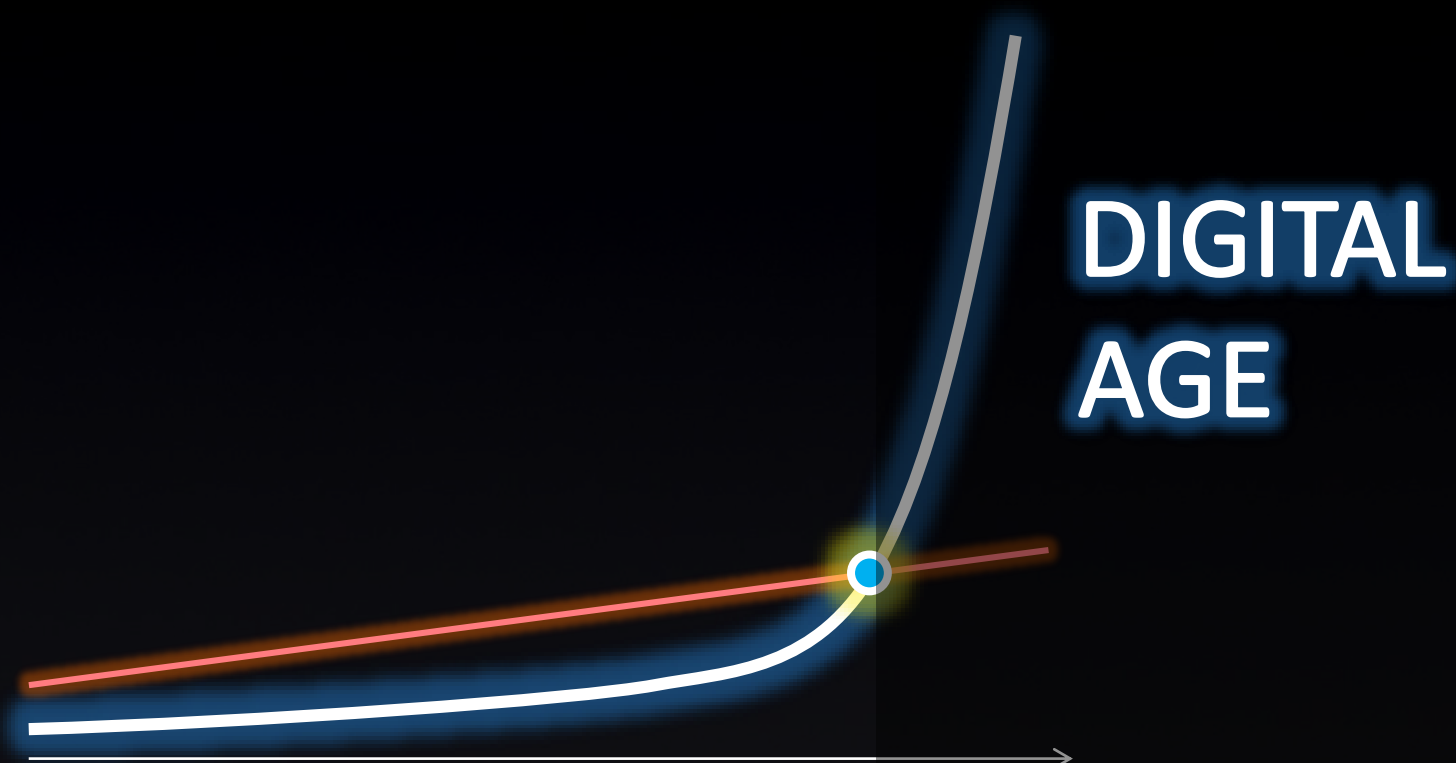
広帯域と常時接続



指数関数的に進化

2045 Singularity

exponential growth

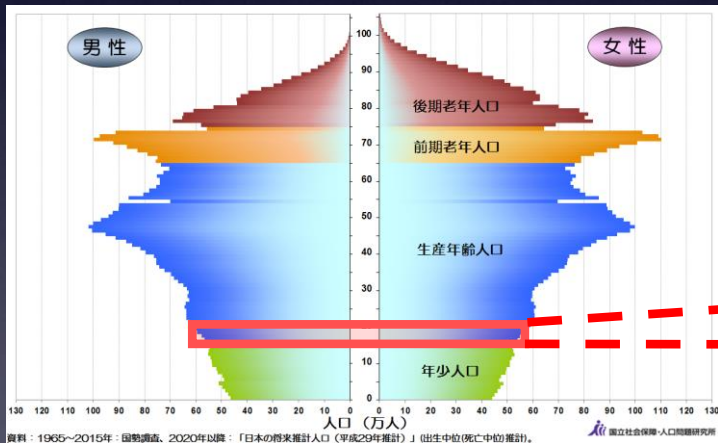


2040年には、ネオ・デジタルネイティブ世代^(※)は40歳以下の年齢層に拡大。

生産年齢人口に占めるネオ・デジタルネイティブ世代の者の割合は約45%となり、デジタルの情報を扱うことが当然の時代に。

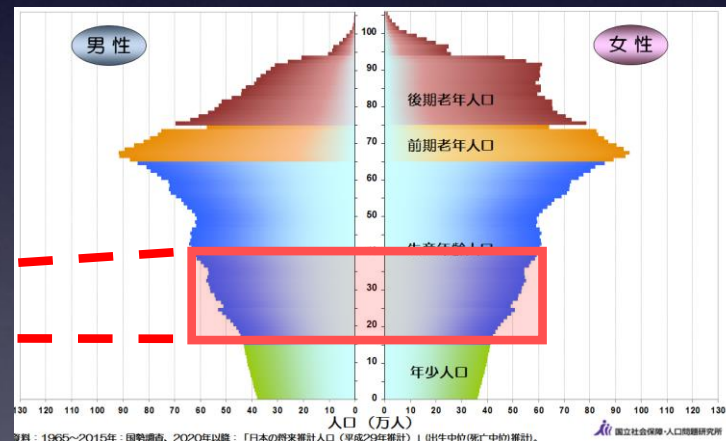
(※)2000年以降生まれ。現19歳以下。

<2020年>



生産年齢人口に占める
ネオ・デジタルネイ
ティブ世代の者の割合
は、9%⇒45%に

<2040年>



「日本の将来推計人口（平成29年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）

(http://www.ipss.go.jp/pp-zenkoku/j/zenkoku2017/pp_zenkoku2017.asp) をもとにNTTデータ作成

都民・企業の真のニーズを追及する視点とは？

米国大手企業のビジネス変革の例

最新テクノロジーを取り入れ
ビジネスモデルを着々と進化させた

飛行の安全確保のため、どんな飛行機にも一律に
エンジン整備をすることが必要だった

■ リアルタイムモニタリング

センサーからリアルタイムにモニタリングすることで、エンジンに対し、必要に応じた整備が可能となり、整備拠点を集約、コスト最小化することに成功。

■ 高度な解析技術

ビッグデータ等によるデータ分析や、モニタリングデータの処理など高度な解析技術により、ジェット燃料の最小化や飛行経路提案など、飛行計画全般をサポート。

Industrial Internet



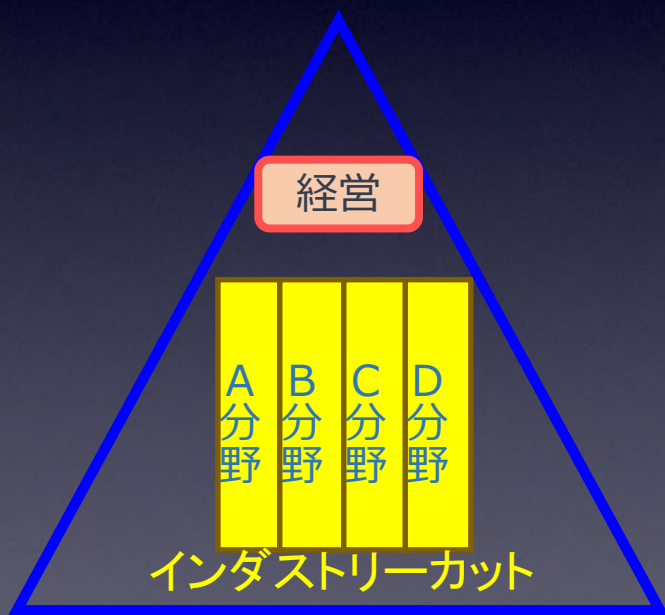
**ダイナミックに外部環境が変化する時代に
必要となる、組織の在り方とは？**

Change Managementの問題

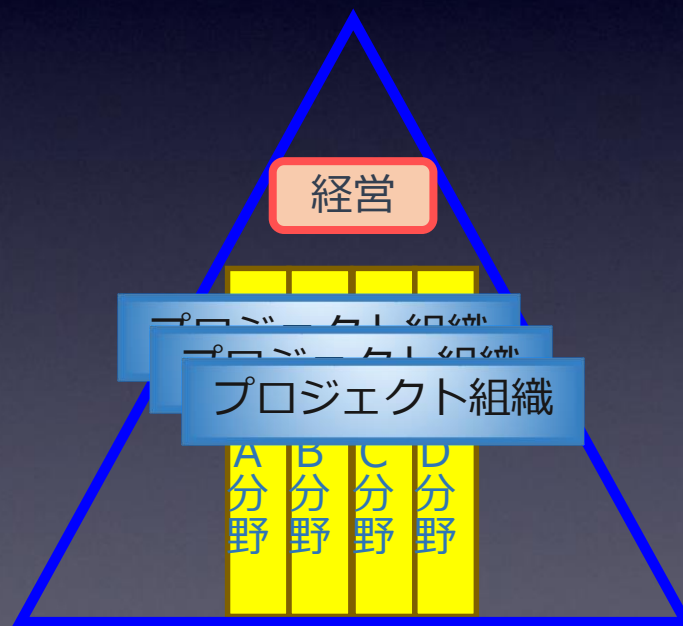
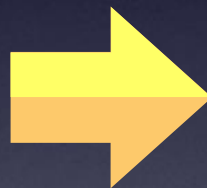
<組織の形態>

インダストリー軸による縦割りピラミッド型組織

インダストリー軸とプロジェクト軸によるmatrix型組織



ピラミッド型

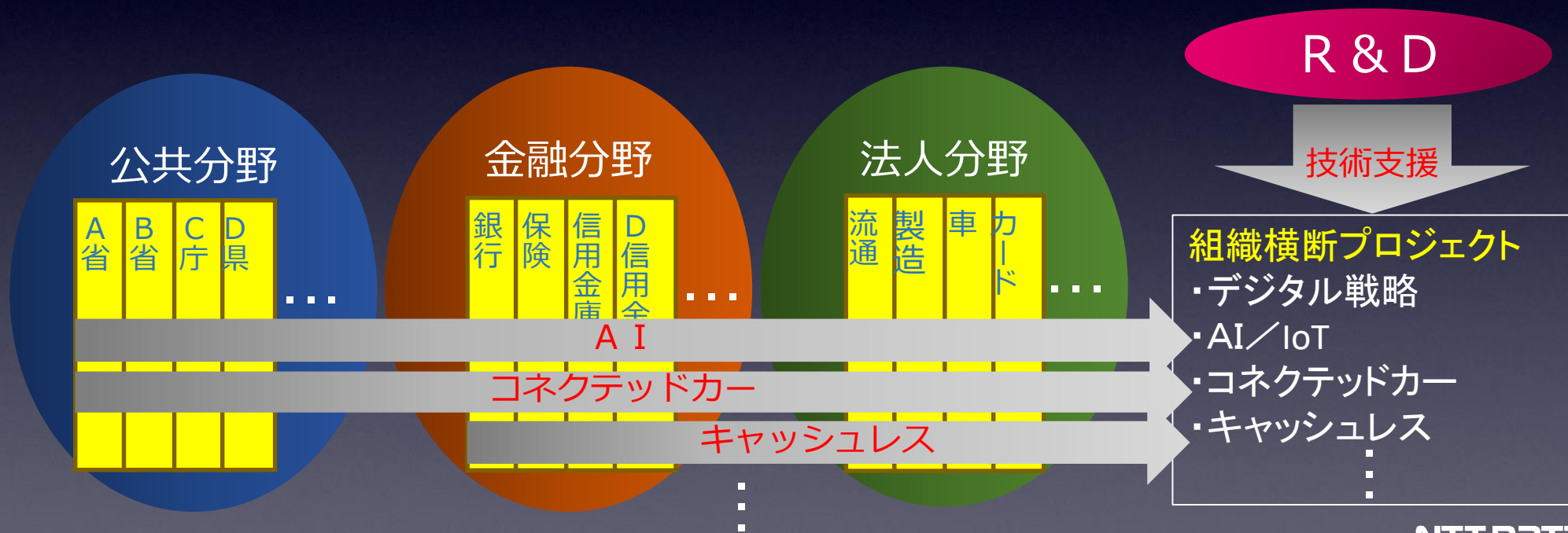


matrix型

NTTから分社（1988）

3分野（公共・金融・法人）でインダストリー毎の組織

インダストリー毎の組織を維持しながら、共通テーマ毎の組織が必要



グローバル進出により、各国別にインダストリーカットの組織を組成。

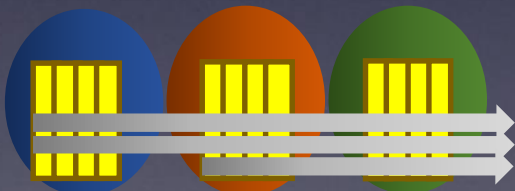
グローバルレベルでの横串しが必要

国別にインダストリーカットの組織

日本



他地域



グローバルでの横串し
(サービス、マーケティング、R&D etc)

日本

A地域

B地域

C地域

金融分野

製造分野

A分野

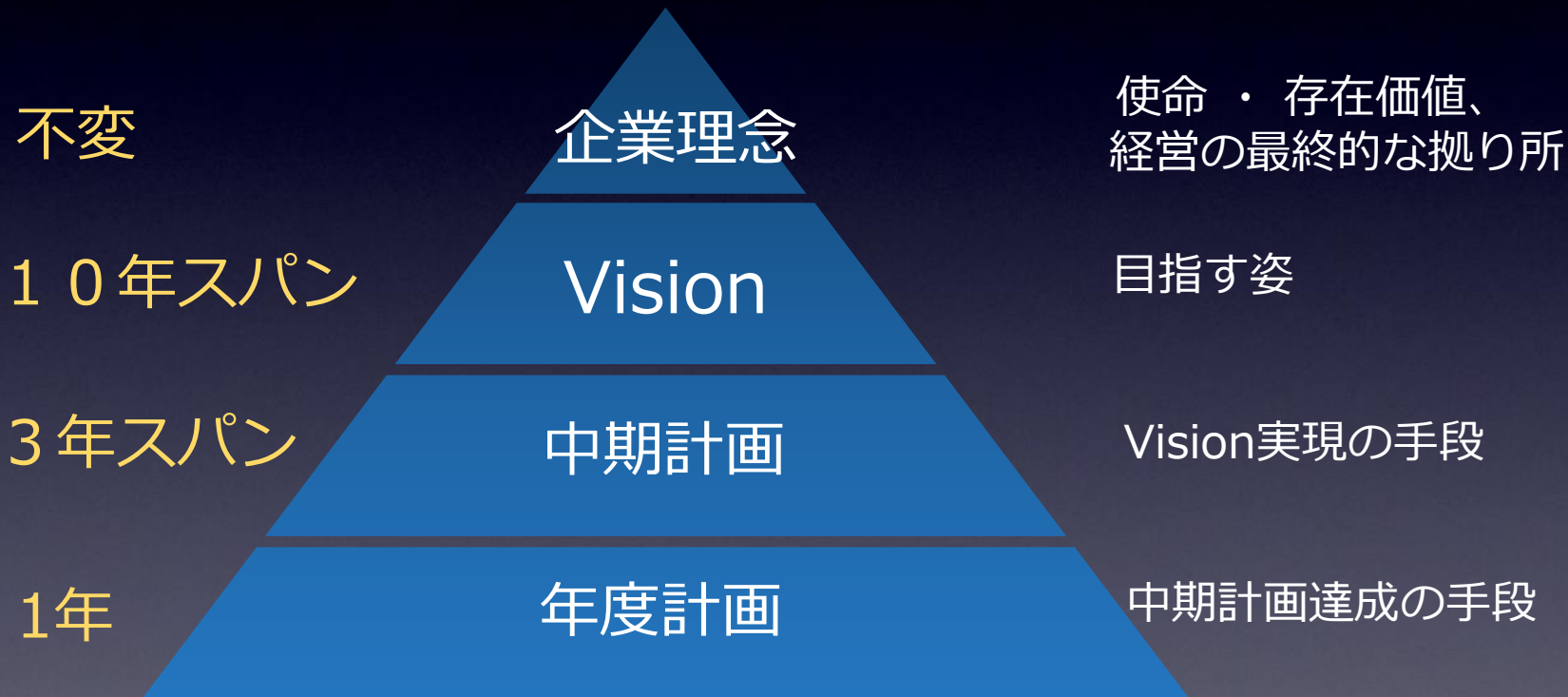
B分野

⋮

改革意識を浸透させるためには？

Change Managementの問題

企業理念体系



グローバルカバレッジを拡大。従業員数は12万人超（国内3.8万人、海外8.5万人）

53

countries & areas

223

cities

123,000+

Professionals

北米
社員数

約 16,000 人

中南米
社員数

約 11,500 人

EMEA
社員数

約 29,300 人

中国
社員数

約 4,200 人

日本
社員数

約 37,700 人

インド
社員数

約 21,000 人

APAC
社員数

約 3,300 人

※ 2019年3月末時点における当社グループの拠点数、従業員数より



Values Week

Group Visionの実現に向けて、社員が大切にしている共通の価値観を全世界で語り合うワークショップを毎年開催。



“NTT DATA One Song”

世界中の社員が1つになるため、社員が協力して創り上げた“One Song”

NTT DATA

Trusted Global Innovator